

### ③ 情報提供の手段について

○ＰＩ委員会、懇談会で意見集約した結果が一般住民へ伝わってきません。

○もっとわかりやすい資料をつくってください。



○今回の瓦版はわかりやすくて良いです。

（情報提供の方法に関する提案）

○説明資料は、地区公民館や町内会単位での配付、閲覧を行い、一般住民が気軽に見ることのできる機会を増やしてください。

○インターネットを利用した意見募集やアンケートの実施を考えても良いのではないのでしょうか。一連の活動内容をホームページで公開し、メールを使って随時意見交換ができるようにしてください。

○瓦版の発行回数や住民説明会の回数を多くして、住民の理解をより深めてください。

（資料の表現方法に関する提案）

○大沢野町内だけの範囲ではなく、富山市から高山市を含めた全体的な範囲を含めて説明しなければ、地域のエゴでうまくまとまらないと思います。

○ルート帯やインターチェンジ配置のパターンについては、それぞれの利点・欠点を比較して説明してあるとわかりやすいです。

地域懇談会の運営については、多様な人材に参画していただけるよう、さらに工夫して参りたいと考えています。

資料のうち、ページ数が多く各戸配布できないものについては、だれもがどこかで閲覧できるように配慮していきたいと考えています。また紙面による情報提供を補う手段として、ホームページによる情報提供を予定しています。

今回、情報の範囲を大沢野町中心とさせていただいたのは、大沢野のまちづくりに重点をおきながら、ルートおよびインターチェンジ配置を含めた意見を伺いたいと考えたためですが、大沢野道路の広域的な役割についても意見を伺いたいと考えております。

ルート帯及びインターチェンジ配置については、今後国土交通省の調査に基づく評価を行い、皆さんに提示し、意見交換しながら進めていきます。

### ④ 意見聴取の方法、意見の取り扱い方について

○住民が直接話すことのできる場や状況をつくってほしいです。

○出された意見をどこまで計画に反映させるのですか。

○声の大小に関わらず、一人ひとりの意見を平等に扱ってください。

（意見募集、意見集約の方法に関する提案）

○意見募集は、様々な年齢層別に行いとりまとめた方が良いのではないのでしょうか。

○意見募集では、具体案を提示し選択方式で行ってはどうでしょうか。

地域懇談会や住民説明会、意見募集等で広く情報を提供し、皆様の意見を頂きたいと考えています。頂いた意見については、経済性や構造面から実現可能か否かを総合判断していきたいと考えています。

意見の集め方やとりまとめ方法については、今回の意見も含め、工夫していきたいと考えています。